



令和6年度 車座集会 意見交換内容

日時	令和6年9月4日(水)14時30分から
場所	中部地区コミュニティセンター 講座室
テーマ	交通機関問題やまちのにぎわいなどについて
出席者	地域参加者12名、市議会議員1名、市長ほか関係者4名 合計17名

佐世保市 市民生活部
コミュニティ・協働推進課

令和6年度中部地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:交通機関問題やまちのにぎわいなどについて

地域参加者

- 中部地区、山手町、田代町、烏帽子町について独自循環バスというのがある。今年の3月に西肥バスさんから便を減らしますといきなり言われた。4月から3便を2便に、土日を含め止めますという話があって4月以降新年度になったらなくなるかもしれないという話をされた。本来誰が不便を感じるのかということをもう少し理解していただいてもっと地元の方に先に情報を促していただきたい。
その後は、行政の方から何回も地元へ足を運んでいただいて、デマンドタクシーなどの説明をしていただいたので、そのことについてはお礼を申し上げたい。
- バス会社が赤字ということでそういう問題になってきている。思い切って、高齢者からも100円なり200円なりバス代を取っていただきたい。みんな無料だから肩身が狭いので、いくらかとってもらった方が乗りやすいと言っている。
- まず町内会の方が、みんなが力をつけないとどうにもならない。
一回うちも再開発しようとなったが、地権者さんはお金がかかるわけで負担が大きい。
町のにぎわいというのは、町内が元気でないといけない。町内で盛り上げていって、協力していただくことが必要。
それから、町内会があまりにも分かれすぎている、そういうのを統合していただきたい。小さいところは何も行事ができなくなる。何十件のところは市の方から統合していただけるように提案してもらえないか。



令和6年度中部地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:交通機関問題やまちのにぎわいなどについて

地域参加者

- ハウステンボスは何万人という人が来ている、佐世保市内には来ない。なぜか。JRに1日1本でもいいので無料送迎できるよう市で検討してもらえないか。ハウステンボスに来た人が佐世保のまちに格安で来れるようにしてくれば、佐世保の方にもハウステンボスのお客さんが寄ってくれるんじゃないだろうかと思像している。まったく今、恩恵を受けていない。
- ここ何年か中央商店街が疲弊している。サンクルが完成して10年になる。完成レセプションの時に、再開発のあと、第2第3の再開発につながっていくことを期待していたが10年間何もない。真っ暗な商店街になってしまうのではないかと。再開発というのは、行政主導で行われたいけないのではないかと。再開発を知らない方がけっこう多いのかなと思う。商店街の役員さん、町内会の役員さん、ある程度の大きな物件を持っている人たちに集まっていたいただいて、再開発関連のコンサル、そういう人たちを講師にして勉強会みたいなのをやってみたらどうか。



令和6年度中部地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:交通機関問題やまちのにぎわいなどについて

地域参加者

- まちのにぎわいということで、例えばハード面をしたからと言って本当にまちのにぎわいができるのかなと。

いつだったか長崎新聞に佐世保の四ヶ町の記事が載っていた。なぜ四ヶ町ににぎわいが無いのかということで。他のところに比べたら学生さんの行き来がない。交通費が非常に高いから学生が来ない。佐世保で言えばたぶん5千人くらい学生の人がいる。その人たちがもうちょっとハード面だけでなく、もう少し何か交通機関とかを考えれば、市内、中心地にもまちのにぎわいが出てくるんじゃないかと確かそういうふうな記事だった。逆に言えば、ハード面を綺麗にしたからとよいというだけでなく、もう少し自分たちで何か考えていかないと、来てくださいだけじゃなくて、こういうふうな仕掛けをするから来てくださいというようなことが必要となってくるのかなと考えている。

- 民間に任せて事業開発とか言われたが、美術館横の駐車場から共済病院の駐車場は市のものだと思う。あれはどうにかならないのか、どういうふうに市は考えているのか教えてほしい。



2024.9.4 中部地区



令和6年度中部地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:交通機関問題やまちのにぎわいなどについて

地域未来共創部長

- 西肥バスの、特に運転手が非常に不足しているというのが大きい問題で、ここだけではなく市内各地でこれまでも廃線・減便の実績がある。その廃線されたところの中でデマンドタクシーなどで整備をし、調整させていただいて、非常にご協力をいただいている。この地域においても、一緒に作っていければと思う。
- 保健所の方で無料パス券、いわゆる高齢者の外出支援をやっている。廃線・減便というのはもちろん種々の問題があるが、一番大きな問題は運転手が不足していて、どこかを切らないとあてがえられないということがある。どこを切るかという話になってきた時に、収支というよりも、乗客が少ないところをまずは切るとすることで西肥バスは考えているような状況である。
- (廃線・減便について)市が知らせを受けたときには、何とか維持できないかという交渉はやっていきたいと思っていて、実際今年度はやっている。そのうえで、それでもどうにもならないなという話になった時に、いわゆるデマンドタクシーをやっていく調整をしていくようなことを、できるだけ早い段階で地元の方たちとお話したいというのがある。
- (廃線・減便などの)情報をお知らせするタイミングに関しては、バス会社とも話をし、そのうえで調整をさせていただければと思っている。
- 敬老福祉パスの対象者数としてははっきり把握はしていないが、2万人ちょっとくらいだったと思う。
(100～200円の負担金については)すごくありがたい話だと思うが、庁内に持ち帰っていろんな角度で検討していく必要があると思う。

令和6年度中部地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:交通機関問題やまちのにぎわいなどについて

市民生活部長

- (敬老福祉パスについて)75歳以上の対象者数は4.2万人だが、実際の交付数は地域未来共創部長が話したように2.2万人、2万人ちょっとくらいとのこと。
- 町内会の統合ということで、私どもの方も統合をしたいというところがあれば、間に入って調整に入るようにしている。もっと市が積極的に介入してもらいたいという声も聞こえてきてるので、今、町内会の決算書を見ながら、運営状況等を調査している段階である。

都市整備部長

- 再開発自体は、それぞれの事業をされている方、あるいは土地をもたれている方、あるいは権利者の方が中心となって発案されて、最初は準備組合とかを作っていただき、市が支援できる部分についてはしっかり対応はしていきたいと思っている。
しかし、この再開発について、行政がそこに支援をするというのは非常にハードルが上がってきており、商店街全体にいろんな波及効果がもたらされるものでなければならないとか、いろんな厳しい条件が付されていて、今少し足踏み状態ではある。



令和6年度中部地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:交通機関問題やまちのにぎわいなどについて

都市整備部長

- まずもって、地域の方々にまともっていただかないと、なかなか行政が個人の資産に対してどうこうというのはなかなか言えない部分がある。まちのにぎわいがなくなるということは避けたいと思っているので、行政でやれることはやっていきたいなというふうに考えている。
- 島瀬市営駐車場は、国道向こう側から下に水路が入っており、基本的に水路上の占用というのはあまりよろしくないという状況である。栄・湊地区の再開発事業が、計画がなされて進んでいくという形になると、一体的な整備を行政側で考えていく必要もあるのかなと。あるいは民間側でもし提案があれば、そういう提案を我々としては受けていきたいという考えである。再開発の方がどうなるか分からないので、今のところ我々としては手をつけられない状況である。



2024.9.4 中部地区

令和6年度中部地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:交通機関問題やまちのにぎわいなどについて

市長

- 昨年、保健福祉部の方でこの敬老福祉パスに関するアンケートをとらせていただき、無料でパスをもらえることを続けてほしいと恩恵を感じている方もたくさんいらっしゃるようで、それはそれとして踏まえないといけないと思う。
しかし一方で、公共交通の足が年々弱ってきているということは間違いないので、これをどうやって維持をし、また利便性をあげていくのか、これは高齢者の皆様方をはじめ全ての世代の皆様方にとって重要なことだと思っている。
- 佐世保市と佐々町を含めた市町で公共交通の活性化協議会を作っており、その会合を今年度の第2回目を開催した。その中で今中間報告を作っていて、今年度内に計画を策定することとなっている。どうやって佐世保市全体を公共交通でカバーしていくのか、またカバーができないところは、デマンドタクシーやコミュニティバスといった手段を使いながらどう補完をしていくのか、こうしたことを計画しているところである。
- バスの運転手について、一つには給料面の充実というものが必要である。それともう一つには、やはり労働時間の問題があるというようなことが運転手サイドからの意見としてあった。13時間労働をするということ、また大変過酷な勤務であるということ、そうしたことでなかなか手がないということがあるので、待遇面も含めて、労働時間の改革等をしっかりと踏まえながらこれから考えていく必要があるというふうに思う。
- いずれにしても、本市にとって非常に重要な、また喫緊の課題だと考えているので、こうした公共の足というものが、利便性というものができるだけ落ちないように我々も考えていきたいというふうに思っているので、皆様方のご理解とご協力をお願いしたい。

令和6年度中部地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:交通機関問題やまちのにぎわいなどについて

市長

- 佐世保の観光の課題というのは周遊機能にあるのではと思う。多くの観光客がハウステンボスに来ているにも関わらず、なかなか佐世保市に引っ張る力がないというのが課題ではないかと思う。魅力ある何か呼び込むようなものとして、一つは九十九島ではないかと思っている。九十九島はこれだけ素晴らしい景観がありながら、なかなかこれを十分に生かすことができなかった。したがってこれを何とか呼び込む力・拠点として作りたいということで、今回総合計画の後期基本計画の中で、まさに地域資源を活かすための九十九島、俵ヶ浦半島や北九十九島、ここも非常に魅力的であるので、これを活かしたエリアをしっかりと作り上げて、市内に呼び込むようなものを作り上げたいと思う。
- クルーズ船について、今年度はコロナ禍前の最高値にほぼ近づく予定であるし、来年度は更に増やしていこうと考えている。クルーズ船は来るのが目的ではなくて、クルーズ船が来て佐世保で経済効果を生むということが目的である。そのためには民間の皆様方、地元の皆様方の力を結集して、どうやって、最大限の経済効果をあげていくかということに注力をしていきたい。
- (島瀬市営駐車場について)過去には全体的な計画も閉ざされたというふうに聞いているが、やはり今まさに、あそこの方々を中心に開発をしようというのがあり、我々が先にやってしまうと、そちらの方の計画にいろいろ影響をきたすことあるかどうかというふうに思うので、ちょっと今状況をみているという話。

令和6年度中部地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:その他

地域参加者

- 敬老祝賀会について。市の健康づくり課から市長さん名でお祝いのメッセージを紙でいただいているが、今こういうペーパーレスの中で、DVD、ビデオレターというものがあるんじゃないのか。ですから市長さんが直接みんなに語り掛けるビデオレターをしたらどうか、という思いがある。提案としては、ビデオレターにしてもらおうと同時に、市長さんと市議会議長さん、二人併せて敬老の日の祝辞というかレターをいただければなと。
そしてその方法としては、これも私の提案ですが自治協は27自治協ある。27枚DVDを使ってもらって、必要とする町内会は、自治協の方に来てデータをコピーしてもらおうというのはどうか。
- 町内の世帯数が減少しており、それに対して空き家とか空き地の問題が出てきている。台風でもだいが瓦が飛んだりとかしている。対策が難しい。
- 空家というのはいらない家。持ち主が分からない、または持ち主も忘れていて処分するにもお金がかかるからほったらかしにしているのが結構ある。そういうのは市が買い上げて整備したほうが早いのではないかと。
空家でボロボロになっている家はみんな手を付けたくない。地主がいても大家がいてもその子どもさんがいてもそんな財産はもらいたくない。大半の人は処分したいと思っている。
もうボロボロなって危険家屋というのが結構ある。みんなが言っているのはそういうのが対象。防犯面とかでみんな心配している。



令和6年度中部地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:その他



地域参加者

- 市民活動保険について。行政が設定した保険制度なので、ある程度対象者や対象となる活動というものに制限があるということで、民間の活動保険にも入っているが、民間の保険に対して市から何らかの助成とか応援する仕組み、制度ができないものか検討ができればお願いしたい。安心して日頃の自分たちの市民活動ができるように、ぜひとも考えてほしい。

2024.9.4 中部地区



令和6年度中部地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:その他

市民生活部長

- (敬老祝賀会の祝辞(レター)について)議長へは議会事務局の方に私の方からお伝える。

都市整備部長

- 先般自治協に住宅政策に関する計画ということでチラシの回覧をお願いし、その中で直接ご説明を求められたところには、空き家問題について説明を行った。



2024.9.4 中部地区

令和6年度中部地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:その他

都市整備部長

- 令和6年4月に空き家対策に関しての計画の見直しを行った。

空き家は当然個人所有の資産となることから、これまではいろんな情報を地元からいただいたときに、空き家の所有者を調べ、その所有者に健全な状態で保全してもらうようお願いをしたりとか、空き家を介して何か問題が生じた場合については様々なお願いをしてきたところが多かったが、なかなか実効性がないような場面もあったかと思う。

今般、見直しを行い、まずその活用の拡大を念頭に置いて、空き家が集中しているような地域については、少し活用の面で何とかできないかということを検討している。

今年度、ゼンリンと共同研究という形で空き家の分布を調査をし、どの辺にどれくらいの空家があるかということ把握することとしている。

それ以前も、地区自治協には空き家問題で市から相談をさせていただいているが、そこも含めて最終的にとりまとめをして、どうやってそれを解決していくかということを考えていきたいと思っている。

- 空き家の定義は1年以上人が住んでいない状況であり、健全なものもあれば、老朽化して手がつけられないものもある。令和6年の4月1日から相続登記の義務化ということで、極力空き家を無くしていこうというような取り組みもやっと動いてきたところである。

- 基本的には相続登記の申請認可というのが、不動産の相続を知った日から3年以内に相続登記の申請をする必要がある。案内では、正当な理由がないのに、相続登記の申請を怠った場合には10万円以下の過料の適用対象となる、というようになっている。ただ、この過料をされるかどうかというのはちょっと、市では判断ができないところ。

令和6年度中部地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:その他

都市整備部長

- 空き家の相談を受けたときは、極力物件の状況を見て、例えば行政の方で空き家バンクというのがあるので掲載の案内や、あるいは不動産業者に売却をされるとか、解体するのも費用がかかるので、その売却することで解体費用を賄うようなことを考えないかなど、いろんな提案をさせていただいている。
ただ関東の方に住んでいるからなどで、そのままほったらかしにされたりとか、そういうものも多々あるので、そこはしっかり取り組んでいく必要があるのかなと考えている。
- 防災の面での生活道路について、以前、戸尾松川地区で斜面密集市街地事業というのを都市整備部の方でやっており、現在この戸尾松川地区においては、三浦町の方の道路整備しているところである。これが実は平成22年に測量に入り、14年経っているのだが、まだ供用ができていない状況。まずこの路線をいったん整備をさせていただいて仕上げさせていただくということを念頭に置いているところである。
- 佐世保市内の他の場所にも斜面密集地があり、着手した道路を一本ずつ供用開始しているところであるが、今のところ、まだ供用予定の時期については明確にお示しできない状況にある。まずはここを仕上げさせていただき、その事業効果を検証して、道路整備の方法を今までのやり方で進めていいのかどうかを再度検証し、検討させていただくということで考えている。



令和6年度中部地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:その他

市民生活部長

- 市民活動保険について、民間の保険会社と契約し、保険料を支払って市民全体を対象としている。そこに保険会社としての制約が出てきていると思うので、内容をもう少し緩和できないのかとか、ちょっと研究をさせていただきたい。地域が入っている保険、具体的にどこの保険でどういう内容かということも含めて、後で担当の方から聞き取らせていただきながら検討させていただければと思う。



2024.9.4 中部地区

令和6年度中部地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:その他

市長

- 私もあらゆる場面で国際交流も含めてビデオを使った配信をさせていただいている。また、YouTube公式チャンネルというのも持っており、ニュースウェブ佐世保という形で毎月配信をしている。

そういう形でできるだけ私が市民の皆様方に直接言葉を交えながら配信していくことは大事と思っているので、敬老祝賀会のビデオレターというご提案については、これからやらせていただければと思う。

- 空き家問題については、全市的というか全国的に深刻な問題である。

やはりどこが空き家かという正確な情報を知ることが重要であり、ゼンリンと協定を結んで、空き家の情報をしっかり把握すること、そうすれば民間の業者とマッチングをしながら貸したり売ったりというような、次の段階に進めるというようなこともあるので、しっかりと情報を把握しながら対策を進めていきたいと思っている。

- 現在、三浦、白南風地区での道路の整備を進めているところである。こうした道路を作るときに、特に住宅地であるがゆえに、地元の皆様方のご理解、ご協力なくしてこの問題は進まないということを痛感しているので、ぜひ今後ともこうした計画がある際にはなにとぞご協力を、対応していただきますようお願い申し上げたい。

